



コーチングに生かす 記述的ゲームパフォーマンス分析 -ハンドボールの事例を中心に-

《講師》 船木 浩斗 氏 中京大学 講師
(スポーツ科学部)

球技におけるコーチング活動は、チームを構成する選手の体力、技術・戦術的な特徴などを考慮しながら、ゲームにおいて自分たちの長所を効果的に発揮できるように計画的に行われるものである。また、コーチが選手やチームに対して効果的な指導を行うためには、チームの攻撃ならびに防御の様相や、各選手のプレーの実態を正確に把握する作業が欠かせない。このような、球技における戦術行為の分析によく用いられている手法が記述的ゲームパフォーマンス分析である。

今回は、中京大学スポーツ科学部の船木氏を講師としてお迎えし、ハンドボールにおける代表的な個人戦術である1対1防御プレーを題材に、コーチングの実践現場に役立つ知見を生み出すことのできる記述的ゲームパフォーマンス分析を使った研究の進め方を紹介していただきます。ハンドボールに限らず、スポーツコーチングに共通して役立てられる知見が得られる機会です。多くの方の参加をお待ちしております。

《日時》 2016年5月27日(金)
17:00 ~ 18:00

《会場》 豊田キャンパス21号館
2131教室

※参加無料、事前申し込み不要



《講師紹介》

船木 浩斗 FUNAKI Hiroto

中京大学大 講師(スポーツ科学部)

- ・2006年 筑波大学(体育専門学群)卒業
- ・2012年 筑波大学大学院(人間総合科学研究科体育学専攻)修了
- ・2012年4月に中京大学スポーツ科学部助教、2016年4月から講師
- ・教鞭をとる傍ら、ハンドボール部の監督として学生の指導にあたる
- ・2010年4月から2012年3月まで、日本ハンドボール協会強化支援スタッフとして活動
- ・現在は日本ハンドボール協会指導委員会委員、日本ハンドボール学会の理事を務める
- ・専門はハンドボールのコーチング

